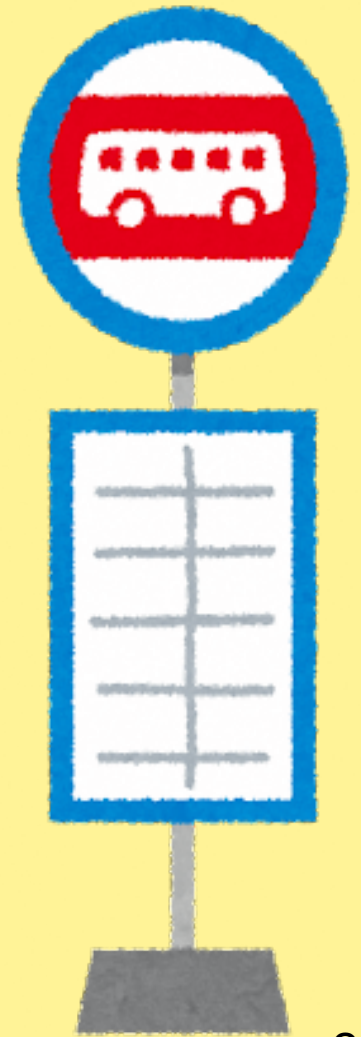


関司ゼミ 川口プレゼン

法政大学 関司ゼミ2年
横田樹・竹内圭哉・原瑞穂・
野本莉沙・河原佳音・田中里奈

川口を歩きました





熊野神社

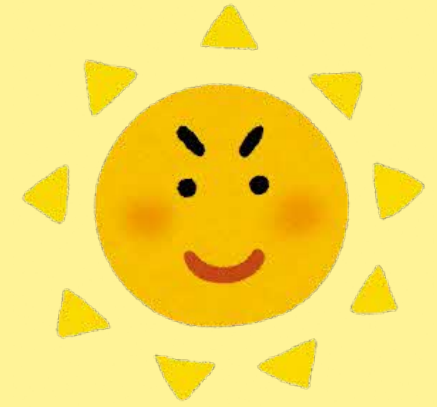
大通り沿い



田舎まんじゅう



上川町を歩きました













歩いて感じたこと

- 家と人が少ない
- 農村の雰囲気がある
- 田舎の落ち着きがある
- 地域を生かしたお店があった

→ 高齢化が進み、若い人が減ることで、

活性化が滞っているのでは？

仕事や生活のバランスはどうか？

川口と上川を比べてみて・・・

川口

- 住宅が多い
- 新築宅も見られる
- 公園や広場がある
- 高齢者が多い

上川

- 家は少ない
- 農業風景が見られる
- 登山客やサイクリング客がいる
- ファミリー層が多い

相違点

共通点

- 地域を生かしたお店があること
- 自然が魅力的だった
- 道の狭さや通り道の不便さ

住民の方へのヒアリング

Q.上流部の方が高齢化が進み、
暮らしが不便になっているのではないか？



実際に住んでる人の
声は
どうなのだろう・・・



お話を聞いて

①少子高齢化

②仕事と暮らしの利便性

①少子高齢化

他の地域で聞くと・・・

団地 = 人のつながりが弱い
孤独・引きこもり



健康や生活問題が課題に
例) 認知症や短命

上川

人のつながりが強い
クラブ活動・老人会



地域全体で健康づくりに
・健康ロード

① 少子高齢化

- 知らない人がいない
- コミュニティが強い

→ 3Place強い



人と人のつながりが強い

②仕事と暮らしの利便性

首都圏から遠くはないけど通いづらい

しかし！！

- 自然を生かした生活→農産物など
 - 都会にはない落ち着き
 - 近所付き合い



子育てのしやすさ

上川の価値とは

- 子育て
- セカンドハウス
- 学生が関わるまち
- 農業に興味のある若者の転入
- 戻ってきたいと思うまち

歩いて感じたこと

- 家と人が少ない
- 農村の雰囲気がある
- 田舎の落ち着きがある
- 地域を生かしたお店があった

→ 高齢化が進み、若い人が減ることで、

逆に良さでもあった！！

仕事、

上川 = 田舎

アット
ホーム

帰りたいくなる

あたたかさ

都会とは異なるまちづくり政策(考え)が必要

上川の価値を生かしたまちづくり

図司ゼミ生からの提案

上川の良さを川口全体に生かす提案として・・・

**「川口・上川の価値を生かした
健康で住み良いまち」**

図司ゼミ生からの提案

「空き家を生かしたプラットフォームづくり」

- ・ 地域の空き家問題の解消
- ・ 自然と共生した場
- ・ 子供たちの居場所づくり
- ・ 3 Placeづくり
- ・ 健康促進活動など



- ・ 街に活力をもたらし、健康づくりに繋がる！
- ・ 市街地に両親が出ている場合でも安心して子供たちを預けられる！



今ある不便さを上回る魅力づくり
健康のサポート・仕事人が人を呼ぶ仕組みづくり

川口フィールドワークを通して感じたこと

- 課題だと捉えていたところはその地域だけにしかない価値でもあることに気づいた
- まちづくりを考えるのにはそのまちの目的や住民の人の気持ちなど多方面で考えることがあった
- 自分たちが調べたことと事実の違いに大きくギャップを感じた
(実際に足を運ぶことの大切さ・現地の人の声)
→そのまち・現地の人との関わりを大事にしていきたい

ご静聴ありがとうございました！